

公 表 日

令和 元年 8月23日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和元年度A I を用いた河川技術開発業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 九州技術事務所長 坂元 浩二 福岡県久留米市高野1丁目3-1
契約年月日	令和 元年 8月23日
契約業者名	日本工営(株)
契約業者の住所	福岡県福岡市博多区東比恵1-2-12
契約金額	26,983,000円(税込み)
予定価格	26,983,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	福岡県久留米市高野1-3-1
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 元年 8月24日
履行期間(至)	令和 2年 3月27日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和元年度A Iを用いた河川技術開発業務
2. 履行場所 福岡県久留米市高野1-3-1
3. 契約の相手方 住所：福岡市博多区東比恵1-2-12
会社名：日本工営株式会社 福岡支店 電話：092-475-7131
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、人工知能(A I)を活用した河川・ダムに関する技術について検討を行うものである。ダム操作のシミュレーションを用い、計画規模以上の降雨が生じた場合のダム操作をA Iに学習させ、適切な操作を行うA Iを構築する。また、A Iや他の手法を用いたリアルタイムの水位データチェックを簡易的に行う手法について検討を行う。さらに、360°カメラの映像等をA Iによって解析し、水位等の河川管理に資するデータを算出するA Iを構築する業務である。

2) 業務の内容

計画準備 1式、人工知能(A I)を活用したダム操作支援検討 1式
ダム操作A Iの高度化 1式、流入量・下流河川水位予測用モデルの作成 1式
A I等を用いたリアルタイムデータチェックの簡易手法の検討 1式
360°カメラとA Iを用いた水位等の算出手法の検討 1式、報告書作成 1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を29者が入手(ダウンロード)し、4者から参加表明書が提出され、4者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち4者を技術提案書の提出者として選定し、4者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断された。

特に、「配置予定技術者の資格及び実績」は優れた評価であり、「業務理解度、実施方針・実施フロー、工程表」における業務項目について、具体的実施手法の提案かつ業務項目間の整合が図られており、実施フローの妥当性が高く、特定テーマの「ダム操作支援にA Iを活用する上での留意点について」に対する技術提案について与条件との整合性が高く、着眼点、解決方法等は的確かつ理論的に整理され説得力があり、提案内容を裏付ける実績を有しており、もっとも優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

九州技術事務所 防災・技術課長